

## 2018.9.26 城南小（5年生） 感想

- スイングさんのお話を聞いて、自分も何かできればな、と思いました。ポケットがついているカレンダーやマジックテープでカードがはれる本など、色々すごいなと思いました。大人になって仕事してすごいなと思いました。
- 私が一番すごいと思った事は、苦手な事があっても出来る事でがん張っているという事です。ぐん手をはめており紙をおった時はイライラしたり、すっきりしないから、すっきりしないじょうたいでいつもいるのは大変だと思いました。障害のある有名人でも、他の人に「すごい」と言われたり、かつやくしている事にもおどろきました。障がいがあってもなくても、やれる事はたくさんあると思いました。
- ゆうめいな人にも はったつしょうがいの人もいることも知れたし、はったつしょうがいはどんなものがあるか分かりました。そして はったつしょうがいがある人でも生活に何かくふうすれば ほかの人のように してほしいことなどを つたえたりできるんだなと思いました。じへいしょうの人は 百人のうち一人で 思ったより多くてびっくりしました。
- ハリーポッターが発達障害だったと聞いてとてもびっくりしました。おりがみを折るのは得意だけど、ぐん手をはめてたらきれいにできなかつたので少しいらつきました。なので、いつもぐん手をはめてるようなかんじの人はきれいに出来ない気持ちが分かりました。ほかにも一つのものに しゅう中して見てしまう人の気持ちもだいたい分かりました。わたしも障害のある人の気持ちを考えて 優しくしたいです。
- 福祉実践教室を通して、四つのことを感じました。一つ目は、身の回りにも、ぼくたちがきずいていないだけで 発達しょう害の人がいるということです。二つ目は、不器用の不便さです。三つめは、いっぺんに聞くと、さわがしいし、聞き取りにくいということを感じました。四つ目は、ことばがわからないと不安になるんだなと 感じました。
- 発達障害とはどのような障害か知らなかつたので、ふしぎなことや びっくりしたことがありました。
- 今まで「発達障害」しか知らなかつたけれど、「自閉症」というのもあるということが知れて、とても勉強になりました。自閉症の中にも、いろいろ人それぞれの苦手な事があって、個性みたいだなと思いました。スイングの人たちに、「自分も自閉症の一部をもっているかも」と聞いて、自閉症だからって、別というあつかいは ぜったいしたくないなと思いました。
- 体験の中でとくにビックリしたのは、四人が同時にクイズを出す「どんなふう聞こえているの」です。一人ずつしゃべるとよく聞こえるのに、四人同時だと全く何を言っているのかが分からなかつたからです。自閉症の子がいつもあんなふうきこえてるんだなあと思いました。なので 自閉症の子は人一倍努力していることが分かりました。
- 今までには自閉症や発達障害をあまり知らなくて、その人達にどういふことをすればいい

のか分かりませんでした。でも、自閉症の人は自分の気持ちを伝えることが苦手と知りました。そしてして、その子に合った道具を使うといいことが分かりました。例えば、カレンダーにポケットを付けた、そこに絵で表した予定カードを入れるものはすごいアイデアでした。これからも、自閉症についての本や資料を見て勉強したいです。

- 自閉症でもできる事はいっぱいあるし、ちょっとふつうの人と違うだけで、苦手な事が多いだけということが分かりました。
- 発達障害でも、世界などで有名人がいるんだと思いました。自閉症体験をした時のおりがみをおるやつは、と中からもうイライラして、やりにくくなってきて、次に見え方のときも、さいしょは、りんごだと思ったのに、かがみもちだったのがおどろきました。